



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

東京工業大学大学院理工学研究科 基礎物理学専攻教授

1. 教授 1 名
2. (1) 大学院理工学研究科基礎物理学専攻基礎物理学実験講座
3. 宇宙・原子核との境界領域を含む素粒子物理実験
4. 学部および大学院における教育・研究を担当する
5. (1) 平成 20 年 4 月 1 日以降、なるべく早い時期
(2) なし
6. 博士号を有すること
7. ○履歴書（受賞歴を含む）
○研究業績調書（論文リストは査読付きとそれ以外に分ける、招待講演などの業績リスト、学会活動などの社会貢献、競争的研究資金の取得状況も含める）
○主要論文別刷 5 編以内（コピー可）
○研究と教育に関する業績の説明（A4 サイズ 4 頁以内）
○研究と教育に関する計画（A4 サイズ 4 頁以内）
○着任可能時期
○推薦書およびもしくは意見書合わせて 2 通
8. 平成 19 年 9 月 14 日（金）必着
9. (1) 〒152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1
東京工業大学大学院理工学研究科基礎物理学専攻 教員選考委員会委員長 柴田利明
(2) 同上
Tel: 03-5734-2461

E-mail: shibata@nucl.phys.titech.ac.jp

10. 封筒に「応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付のこと。詳細は、

<http://www.phys.titech.ac.jp/kiso/koubo/> 参照

京都大学大学院理学研究科 宇宙物理学教室教員

1. 教授 1 名
2. (1) 京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 宇宙物理学教室
(2) 京都市
3. 宇宙物理学（理論）
4. 宇宙物理学の研究とそれを通しての大学院生・学部生の教育。当教室で推進中の岡山新望遠鏡計画に協力していただける方を希望します。京都大学において活気あふれる研究グループを立ち上げ、リーダーシップを発揮できる有能な人材を広く求めます。
5. 決定後なるべく早い時期
7. (1) 履歴書、(2) 論文リスト、(3) 主要論文別刷、(4) 研究歴、(5) 研究計画書、各 2 部
8. 2007 年 10 月 1 日（月）必着
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室 教室主任 長田哲也
Tel: 075-753-3903 Fax: 075-753-3897
E-mail: nagata@kusastro.kyoto-u.ac.jp
(2) 提出先に同じ
10. 封筒に「人事応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付すること。応募書類は、お返ししません。

愛媛大学大学院理工学研究科教員

1. 助教 1 名
2. 理工学研究科数理物質科学専攻基礎物理科学講座
3. 光学・赤外線宇宙物理学（実験）
4. 研究活動および共通教育、学部専門教育、大学院教育ならびに学部・学科の運営に関わる業務
5. (1) 平成 20 年 4 月 1 日（予定）

- (2) 5年, ただし着任後の業績により再任可
6. 博士号取得者
7. (1) 履歴書, (2) 研究業績リスト, (3) 過去3年間の科研費, 研究助成金および特許の取得状況, (4) 主要論文別刷(コピー可)5編, (5) 研究概要(1,000字程度), (6) 着任後の研究計画(1,000字程度), (7) 教育に関する抱負(1,000字程度), (8) 推薦書2通あるいは照会可能者2名の氏名と連絡先
8. 平成19年10月31日(水)必着
9. (1) 〒790-8577 松山市文京町2-5
愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)
人事委員会委員長 野倉嗣紀
- (2) 〒790-8577 松山市文京町2-5
愛媛大学大学院理工学研究科数理工学専攻物理学コース コース長 江沢康生
Tel: 089-927-9581
Fax: 089-927-9580(物理事務室)
e-mail: ezawa@phys.sci.ehime-u.ac.jp
10. 封筒に「物理学教員応募書類在中」と朱書きし, 簡易書留で送付すること. 最終段階で, 講演をお願いし, 面接を行うことがあります. なお, 応募書類は原則として返却しません.

立教大学理学部物理学教員 (教授または准教授)

- 教授または准教授1名
- (1) 立教大学理学部物理学宇宙地球系物理学研究室
(2) 東京都豊島区西池袋3-34-1
- 地球大気圏・磁気圏を含めた太陽系惑星科学分野で, 飛翔体ならびに地上観測・実験を通して研究を進める方
- 物理学専門科目, 大学院物理専門科目, ならびに全学共通カリキュラムの自然科学系分野科目を担当. 卒業研究, 大学院院生の研究指導
- (1) 2008年4月1日
(2) 任期なし(定年は65歳)
- 博士の学位を有する方. 45歳未満が望ましい.
- (1) 履歴書(連絡先, e-mail アドレス等を明記すること), (2) 研究業績リスト(査読誌, その他に分割すること), (3) 主要論文5編以内の別刷(コピー可), (4) 競争的資金導入実績リスト(特許等の実績も含んでも良い), (5) 研究業績の概要(2,000字程度), (6) 今後の研究・教育の抱負(1,500字程度), (7) 照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先(電話, e-mail アドレス等)
- 2007年10月5日(金)(必着)
- (1) 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
立教大学理学部物理学 栗田和好
(2) 同上 北本俊二
Tel: 03-3985-2419
e-mail: kitamoto@rikkyo.ac.jp
- 封筒に「応募書類(宇宙高エネルギー)在中」と朱書きし, 簡易書留で送付のこと. 応募書類は原則として返却しない. 必要に応じて面接を行うことがある. 提出していただいた個人情報については, 教員任用業務, 連絡, 手続きのためのものであり, 他の目的に使用することはありません.

立教大学理学部物理学教員(助教)

- 助教1名
- (1) 立教大学理学部物理学宇宙地球系物理学研究室
(2) 東京都豊島区西池袋3-34-1
- 宇宙高エネルギー現象の観測的研究分野. 当該研究室の北本俊二教授と協力して研究できる方
- 物理学専門科目を担当
- (1) 2008年4月1日
(2) 任用契約期間は1年とする. ただし, 契約の更新は4回を限度として行うことができる.
- 博士の学位を有する方. 30歳代なかば以下が望ましい.
- (1) 履歴書(連絡先, e-mail アドレス等を明記すること), (2) 研究業績リスト(査読誌, その他に分割すること), (3) 主要論文5編以内の別刷(コピー可), (4) 研究業績の概要(1,500字程度), (5) 今後の研究・教育の抱負(1,500字程度), (6) 照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先(電話, e-mail アドレス等)
- 2007年10月5日(金)(必着)
- (1) 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
立教大学理学部物理学 栗田和好
(2) 同上 北本俊二
Tel: 03-3985-2419
e-mail: kitamoto@rikkyo.ac.jp
- 封筒に「応募書類(宇宙高エネルギー)在中」と朱書きし, 簡易書留で送付のこと. 応募書類は原則として返却しない. 必要に応じて面接を行うことがある. 提出していただいた個人情報については, 教員任用業務, 連絡, 手続きのためのものであり, 他の目的に使用することはありません.

立教大学理学部物理学科教員（助教）

1. 助教 1 名
2. (1) 立教大学理学部物理学科理論物理学研究室
(2) 東京都豊島区西池袋 3-34-1
3. 理論物理学における宇宙物理学分野
4. 物理学科専門科目を担当
5. (1) 2008 年 4 月 1 日
(2) 任用契約期間は 1 年とする。ただし、契約の更新は 4 回を限度として行うことができる。
6. 博士の学位を有する方。30 歳代なかば以下が望ましい。
7. (1) 履歴書（連絡先、e-mail アドレス等を明記すること）、(2) 研究業績リスト（査読誌、その他に分割すること）、(3) 主要論文 5 編以内の別刷（コピー可）、(4) 研究業績の概要（1,500 字程度）、(5) 今後の研究・教育の抱負（1,500 字程度）、(6) 照会可能な方 2 名の氏名・所属・連絡先（電話、e-mail アドレス等）
8. 2007 年 10 月 5 日（金）（必着）
9. (1) 〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1
立教大学理学部物理学科 栗田和好
(2) 同上 柴崎徳明
Tel: 03-3985-2389
e-mail: shibazak@rikkyo.ac.jp
10. 封筒に「応募書類（理論物理学宇宙）在中」と朱書し、簡易書留で送付のこと。応募書類は原則として返却しない。必要に応じて面接を行うことがある。提出していただいた個人情報については、教員任用業務、連絡、手続きのためのものであり、他の目的に使用することはありません。

鹿児島大学理学部物理科学科准教授

1. 准教授 1 名
2. 宇宙情報講座
3. 宇宙科学（銀河系天文学）
4. 当講座では、理学部が運営する 1 m 光赤外線望遠鏡、および国立天文台と協力して運営する VERA（天文広域精測望遠鏡）と 6 m 電波望遠鏡を用いて観測天文学を進めています。当講座の教員と協力して銀河系天文学の教育・研究を積極的に推進する方を求めます。担当科目は宇宙科学と物理学で、共通（教養）教育、ならびに大学院博士前・後期課程の教育・研究指導にも携わっていただきます。
5. 平成 19 年 10 月 1 日以降のなるべく早い時期。

（なお、本学の定年は 65 歳です）

6. 博士の学位を有する方。国籍は問いませんが、特に学士課程の授業では、日本語で教育ができる方。
7. (1) 履歴書（写真貼付）、(2) 業績目録（下記の順に、著者名、タイトル、発表年、掲載誌名、巻号・ページ、発表内容の概要を 100 字程度、特に重要な業績資料については 200 字程度で記入して下さい。共著の場合は、申請者の担当した部分をわかるように記載して下さい。次の i~iii については、主要な業績 5 点の別刷またはコピーを 1 部ずつ添付して下さい。）、i. 査読付き原著論文、ii. 国際シンポジウム等の Proceedings（査読付きの場合はその旨を記載して下さい。）、iii. 総説と著書、iv. 最近 5 カ年の国際会議での発表、(3) 過去 10 年間の外部資金の取得状況、(4) 教育に対する抱負 A4 用紙 2 枚以内、(5) 研究に対する抱負 A4 用紙 2 枚以内、(6) 応募者に関して問い合わせのできる方、2 名の氏名と連絡先（メールアドレスを含む）
8. 平成 19 年 8 月 31 日（金）（必着）
9. (1) 〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-35
鹿児島大学理学部物理科学科宇宙情報講座
准教授選考委員会委員長 根建心具
(2) Tel/Fax: 099-285-8949
e-mail: nedachi@sci.kagoshima-u.ac.jp
10. 応募書類は、封筒に「応募書類」と朱書し、郵送の場合は「簡易書留」で送って下さい。選考の過程で、面接のために来学を依頼する場合があります。その場合、旅費の支給ができませんのであらかじめご了解下さい。選考後応募書類一式は郵送によって返却します。

物理科学科の教員構成（五十音順）

（平成 19 年 7 月 13 日現在）

- | | | |
|--------|-----------|---------------------|
| 宇宙情報講座 | 教授 | 祖父江義明、立野洋人、
根建心具 |
| | 准教授 | 亀野誠二、中村昭洋、
西尾正則 |
| | 助教 | 今井 裕 |
| | プロジェクト研究員 | 中川亜紀治 |
| 物性理論講座 | 教授 | 藤井伸平 |
| | 特任教授 | 石田尚治 |
| | 准教授 | 秦 浩起 |
| | 助教 | 橋爪健郎 |
| 固体物理講座 | 教授 | 廣井政彦 |
| | 准教授 | 伊藤昌和、永吉秀夫、
古川一男 |
| | 助教 | 重田 出 |

学科の詳細はホームページ
(<http://astro.sci.kagoshima-u.ac.jp>) をご覧下さい。

研究助成

第10回大学婦人協会守田科学研究奨励賞 受賞候補者募集要項

趣旨: 本賞は、化学教育者・故守田純子氏から遺贈された資金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として、1998年に設けられたものです。

対象: 自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満(応募締切日現在)の女性科学者を対象としています。

授賞件数: 年2件以内、賞状および副賞50万円を贈呈します。

提出書類: 1. 推薦状, 2. 履歴書(写真添付), 3. 研究業績リスト, 4. 主要な論文別刷5編以内それぞれ3部(コピーでも可, 返却せず), 5. 研究題目とその概要および今後の展望と抱負を記したもの(A4版2頁以内)

応募締切日: 2007年11月30日(金)(必着)

書類送付先および連絡先: 社団法人 大学婦人協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11-6-101

Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889

<http://www.jauw.org>

e-mail: jauw@jauw.org

平成20年度笹川科学研究助成募集要項

1. 趣旨

「笹川科学研究助成」は、21世紀を迎えて真に質の高い社会の実現のため萌芽性、新規性および独創性のある内容をもった研究を奨励し、振興することを主旨とし、ほかからの研究助成が受けにくい研究を全国的に掘り起こすとともに、意欲に満ちた優れた若手研究者の育成ならびにその研究に対する助成を目的とします。

2. 募集期間

平成19年10月1日(月)から平成19年10月15日(月)《必着》までとします。

3. その他

申請条件、選考方法、決定通知、助成の対象となる

研究者、交付方法、助成交付金、決定後の主な手続き等、その他等はホームページを参照下さい。

財団法人日本科学協会笹川科学研究助成係

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5F

Tel: 03-6229-5365 Fax: 03-6229-5369

e-mail: jss@silver.ocn.ne.jp

URL: <http://www.jss.or.jp>

研究助成結果

第38回(平成19年度)三菱財団自然科学 研究助成

代表研究者: 川村静児

所属: 自然科学研究機構 国立天文台

研究題目: 重力波検出のための変位雑音キャンセル法の開発

研究金額: 12百万円

研究会・集会案内

第5回市民講座「宇宙と物質の神秘に迫る —物理科学最前線—」開催要項

本市民講座は京都大学21世紀COE「物理学の多様性と普遍性の探求拠点」の開始とともに2003年に始まり、今年で5年目を迎えました。本市民講座は来年度以降も続けたいと思っておりますが、今回はCOE(5年計画)の最終年度ということで一区切りをつけ、物理学・宇宙物理学の未来を担う新進気鋭の先生方に「物理科学のこれから—物性物理, 宇宙物理, 素粒子物理の将来—を語っていただく予定です。

どんなわくわくする学問の未来が語られるか、ご期待ください。

日時: 2007年9月30日(日)午後1時~5時

会場: 京都大学百周年時計台記念館(大ホール)

講演プログラム:

特集テーマ「物理科学のこれから」

1. 田中耕一郎(京大・理・物理学第一教室・教授)

「光で物質をあやつる」

2. 長田哲也(京大・理・宇宙物理学教室・教授)

「赤外線で見通す銀河系—木も森もみたい—」

3. 國廣悌二(京大・基礎物理学研究所・教授)

「素粒子の「溶ける」話—超高温・高密度の世界

の探求—」

講演終了後、午後5時半～6時半に、講師の方々と
歓談できる簡単な茶話会を開く予定です。

受講料：無料（ただし、茶話会については実費として
500円を当日いただきます）

対象：中高校生以上

定員：500名（申込多数の場合は、申込ハガキまた
は電子メール先着順）

申込方法：往復ハガキまたは電子メールに、住所、氏
名、年齢、職業、電話番号、茶話会への出席
希望の有無、をご記入の上、下記にお送りく
ださい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京大理学部1号館物理学200号室教室内
京都大学21世紀COE事務局
市民講座「宇宙と物質の神秘に迫る」係
Tel: 075-753-3758

e-mail: shimin07@cr.scphys.kyoto-u.ac.jp

申込締切：9月20日（木）必着 定員オーバーの節は
ご了承ください。

交通：会場の京都大学時計台には公共交通機関でお
越してください。（バス停「京大正門前」より徒
歩5分）、会場までの地図については以下を
参照ください。

[http://www.kyoto-u.ac.jp/access/kmap/
map6r-y.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/access/kmap/map6r-y.htm)

主催：京大21世紀COE「物理学の多様性と普遍性
の探求拠点」

<http://physics.coe21.kyoto-u.ac.jp/>

後援：京都新聞社、物理教育学会、天文教育普及研
究会、京都市教育委員会、京都府教育委員会

世話人：柴田一成（京大理附属花山天文台）、太田耕司
（京大理宇宙物理学教室）、田中耕一郎（京大理
物理学第一教室）、野村正（京大理物理学
第二教室）、犬塚修一郎（京大理物理学第二教
室）、国友浩（京大基礎物理学研究所）

第57回科学講演会

主催：財団法人 東レ科学振興会

日時：2007年9月21日（金）

開場16時30分～終演20時00分

場所：有楽町朝日ホール

テーマ：プレートの沈み方とその行方

その他：入場無料・予約不要（定員630名）

問合せ先：財団法人東レ科学振興会

千葉県浦安市美浜1-8-1

Tel: 047-350-6103 Fax: 047-350-6082

e-mail: torayzaidan@tgnts.toray.co.jp

URL: <http://www.toray.co.jp/tsf/index.html>

APCTP-YITP ジョイント国際研究会

「宇宙物理学における降着とアウトフロー」

第二回日韓若手天文学研究者会議

APCTP-YITP Workshop on “Accretion and Outflow in Astrophysics” and the Second Korea- Japan Young Astronomers Meeting (KJYAM)

主催：Asia Pacific Center for Theoretical Physics
(APCTP, Korea)

Yukawa Institute for Theoretical Physics,
Kyoto University (YITP, Japan)

日時：2008年1月8日（火）～11日（金）

内容：YITP（京都大学基礎物理学研究所）とAPCTP
（アジア太平洋基礎物理学研究所）とで、宇宙
物理学分野としては初の共同国際研究会を開
催致します。同時に、日本-韓国の若手研究者
の交流会（第二回）も兼ねます。本研究会は、
宇宙の活動現象の主な源である「降着とアウ
トフロー」に焦点をあてたテーマで開催す
る。セッションキーワードは以下。

1. Large-scale structure and cosmological ob-
jects
2. Accretion and jets in compact objects
3. Accretion and outflow in star and planet
formation
4. Formation of galaxies and central black
holes

開催場所：ホテル本能寺会館（京都市中京区寺町通御
池下ル）Tel: 075-231-3123

問合せ先：京都大学基礎物理学研究所

e-mail: aoa2008@yukawa.kyoto-u.ac.jp

Tel: 075-753-7010 Fax: 075-753-7020

URL: [http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/
~aoa2008/index.htm](http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~aoa2008/index.htm)

岡山天体物理観測所特別観望会のご案内

国立天文台岡山天体物理観測所では、国内最大級の
188 cm 反射望遠鏡による特別観望会を開催いたしま
す。参加を希望される方は、下記要項に従ってご応募
ください。

主催：国立天文台 岡山天体物理観測所

共 催：岡山天文博物館
 日 時：2007年10月20日（土）所要時間2時間半
 程度（JR 鴨方駅近くの集合場所より送迎バ
 スにて移動。3班編成）
 (1) 1班 18:00, (2) 2班 18:45,
 (3) 3班 19:30, 出発予定
 場 所：岡山天体物理観測所, 岡山天文博物館（岡山
 県浅口市鴨方町）
 対 象：小学生以上（小学生は必ず保護者同伴のこと）
 天 体：月などを予定
 定 員：100名（応募者多数の場合抽選）
 参加費：無料
 申込方法：往復ハガキに
 ・申込人数（ハガキ1枚につき5名まで）
 ・代表者の住所、氏名、年齢、連絡先電話番号
 ・希望する班の番号（(1), (2), (3) いずれで
 も可は(4)を指定）
 を必ずご記入の上お申し込みください。
 応募締切：2007年9月28日（金）必着。結果は10月
 10日までに連絡いたします。
 申込先：〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
 岡山天体物理観測所特別観望会係
 問合せ先：同上。または、
 Tel: 0865-44-2155（代表）（休祝日を除く月
 曜～金曜の10:30～17:30）
 Fax: 0865-44-2360
 URL: <http://www.oao.nao.ac.jp/>

会務案内

【2007年度秋季通常総会開催のお知らせ】

正会員各位

社団法人 日本天文学会 理事長 土佐 誠

—綴じ込みの返信用葉書で9月20日（木）

までに到着するようご投票を！—

下記のとおり2007年度秋季通常総会を開催いたし
 ますので、ご出席下さるようご案内申し上げます。総
 会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の5
 分の1以上の出席が必要です（定款第42条）。欠席さ
 れる場合には、下記の議案をよくお読みの上、次の
 (1) または (2) のどちらかの対応をして下さい。い
 ずれの場合も、総会出席とみなされます。

- (1) 綴じ込みの総会返信用葉書（以下「葉書」と呼ぶ）
を用いて賛否の意志を表明する。
- (2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任す
る。

「葉書」は、9月20日（木）までに天文学会事務局に
 到着するように投函して下さい。「葉書」には切手を貼
 る必要はありません。

○「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない正会員は、綴じ込みの総会返信
 用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、
 委任状を提出して下さい。（委任状にはとくに指定の
 用紙はありません。）

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案につ
 いて「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んで下さい。
 賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入
 し、書ききれないときは別紙に書いて事務局宛にお送
 り下さい。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えま
 せん。

- 1) 所定の「葉書」を用いないもの。
- 2) 会員番号、住所（または勤務先）の両方を欠く
もの。
- 3) 氏名を自署していないもの。
- 4) 投票権のない者からの投票（正会員以外の者）。
- 5) 2重投票。

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱
 います。

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。
- 2) 白票。
委任状については、次の場合に無効となります。
 - 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
 - 2) 委任正会員の会員番号、住所（または勤務先）の両方を欠くもの。
 - 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
 - 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
 - 5) 被委任正会員として、単に役職名の“理事長”または“議長”と書かれたもの。

○2007年度秋季通常総会

日時：2007年9月27日（木）

総会出席者確認：15:30～16:00

総会開始 16:00分～

場所：岐阜大学講堂（I会場）

注意：総会出席確認作業の時間中に会場へ入場して下さい。確認された方には表決のときに必要な札をお渡します。

○議案と報告（本誌494頁から501頁まで参照）

議案：

- 第1号議案 2008年度事業計画書（案）
- 第2号議案 2008年度収支予算書（案）
- 第3号議案 第17期評議員候補者

【第1号議案】

日本天文学会 2008年度事業計画書（案）
（2008年1月1日～2008年12月31日まで）

1. 日本天文学会創立百周年記念事業

- 1) 100周年記念出版と百年史の出版
記念出版全17巻の刊行終了及び百年史の出版。
- 2) 3月23日（日）記者発表と記念講演会・祝賀会を行う。
- 3) 学会100周年及び世界天文年に絡めた、天文学の歴史・発展に関する展示を行うため、関係団体と協力しながら準備作業を進める。

2. 出版物の刊行

- 1) 欧文研究報告
第60巻1号～第60巻6号、隔月刊、A4判、発行部数1,950、年間1,650ページ（掲載料の半額キャンペーンを行う）、特集号2件の計画がある。
- 2) 天文月報
第101巻1号～第101巻12号、月刊B5判、発行部数3,200、毎号64ページを予定、月報のPDF化（電子化）を進める。
- 3) 年会講演予稿集
春・秋季年会の講演予稿集2巻、発行部数各850を予定。
- 4) ジュニアセッション予稿集
春季年会予稿集発行部数500を予定。
- 5) 公開講演会冊子
春秋の公開講演会に配付する冊子各400部。

3. 年会・総会の開催

- 1) 春季年會を2008年3月24日（月）から27日（木）にわたって、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都。開催地理事：嶋作一大）にて開催する。年会期間中に通常総会とジュニアセッション及び天文教育フォーラムを開催する。また、公開講演会は有楽町朝日ホールで3月29日（土）に予定。
- 2) 秋季年會を2008年9月11日（木）から13日（土）にわたって、岡山理科大学（岡山市。開催地理事：福田尚也）にて開催する。また、年会期間中に通常総会とジュニアセッション（ポスターのみ）及び天文教育フォーラムを開催する。公開講演会は9月14日（日）に予定。

4. 評議員会、理事会

- 1) 評議員会：1月中旬，7月中旬および春・秋季年会中に開催予定
- 2) 理事会：1月上旬，7月上旬および春・秋季年会中に開催予定

5. 各賞の授与

- 1) 天体発見賞・天体発見功労賞
新天体の発見者に対して天体発見賞・天体発見功労賞を授与する。
- 2) 日本天文学会研究奨励賞
特に顕著な研究成果を上げた若手研究者（3名以内）を選考し，研究奨励賞を授与する。
- 3) 日本天文学会 林忠四郎賞
天文学の分野において独創的で，かつ分野に寄与するところの大きい研究に対して林忠四郎賞を授与する（1件）。
- 4) 日本天文学会欧文研究報告論文賞
日本天文学会欧文研究報告に掲載された論文の中から，特に優れた論文の著者に対して欧文研究報告論文賞を授与する（2編以内）。
- 5) 日本天文学会天文功労賞
天体観測活動などが，天文学の進歩及び普及に寄与したことに対して授与する（長期的業績1名，短期的業績複数名）。

6. 助成金

- 1) 内地留学奨学金受給者の募集（主にアマチュアを対象）を行い，年内に選考し若干名に奨学金を支給する。
- 2) 早川幸男基金により，若手天文研究者の海外における観測，国際共同研究，もしくは研究発表のための渡航費の援助を行う。

- 3) 賛助会費により，院生等（正会員（学生））の年会（春秋）発表者の旅費補助をする。

7. 各種委員会

- 1) 欧文研究報告編集顧問：10名
- 2) 欧文研究報告編集委員会：10名
- 3) 天文月報編集委員会：10名
- 4) 年会実行委員会：10名
- 5) 天文教育委員会：9名
- 6) 選挙管理委員会：5名
- 7) 林忠四郎賞選考委員会（欧文研究報告論文賞を含む）：6名
- 8) 研究奨励賞選考委員会：5名
- 9) 天体発見賞選考委員会（天文功労賞を含む）：6名
- 10) 内地留学奨学金選考委員会：6名
- 11) 早川幸男基金選考委員会：5名
- 12) ネットワーク委員会：2名
- 13) 天文教材委員会：8名
- 14) 創立100周年記念出版事業編集委員会：17名
- 15) ジュニアセッション実行委員会：6名
- 16) 日本天文学会100年史編纂委員会：12名
- 17) 男女共同参画委員会：5名

8. 共催・後援・支援事業

- 1) 世界天文年について関係各方面と協力しながら積極的に推進する。
- 2) 他の学術団体等の天文関係諸企画に対して，可能な限り後援・協賛等をする。引き続き衛星設計コンテストに参加する。
- 3) 民間財団等の，研究助成公募及び天文学に関連した賞に対して，優れた研究者を学会から積極的に推薦する。

【第2号議案】

日本天文学会 2008 年度収支予算書 (案)

2008 年 1 月 1 日～2008 年 12 月 31 日

《一般会計》

(単位: 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	7,000	2,700	4,300
基本財産利息収入	7,000	2,700	4,300
特定資産運用収入	0		
特定資産利息収入	0		
会 費 収 入	38,590,000	38,470,000	120,000
正会員会費	24,300,000	24,300,000	0
正会員(学生)会費	4,290,000	4,160,000	130,000
準会員会費	9,600,000	9,600,000	0
団体会員会費	400,000	410,000	-10,000
事 業 収 入	26,037,000	24,701,050	1,335,950
欧文研究報告発行事業収入	14,587,000	12,601,050	1,985,950
購 読 料	4,011,000	4,011,000	0
掲 載 料	8,844,000	7,225,050	1,618,950
別 刷 代	1,732,000	1,365,000	367,000
天文月報発行事業収入	3,450,000	4,100,000	-650,000
購 読 料	600,000	600,000	0
別 刷 代	850,000	1,000,000	-150,000
広 告 料	2,000,000	2,500,000	-500,000
年会事業収入	8,000,000	8,000,000	0
予稿集頒布収入	1,250,000	1,300,000	-50,000
登 録 料	6,550,000	6,500,000	50,000
年会雑収入	200,000	200,000	0
補助金等収入	6,600,000	8,560,000	-1,960,000
定期刊行物補助金	6,000,000	7,900,000	-1,900,000
公開講演会補助金	600,000	660,000	-60,000
年会補助金	0		
寄付金収入	200,000	100,000	100,000
寄付金収入	200,000	100,000	100,000
印 税 収 入	530,000	1,030,000	-500,000
星座早見印税	500,000	1,000,000	-500,000
その他の印税	30,000	30,000	0
雑 収 入	506,000	401,500	104,500
受 取 利 息	6,000	1,500	4,500
特別企画収入	200,000	200,000	0
その他の収入	300,000	200,000	100,000
延 滞 金	0		
事業活動収入計	72,470,000	73,265,250	-795,250
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
欧文研究報告発行事業費	30,690,000	25,362,095	5,327,905
直接出版費	17,779,000	13,297,095	4,481,905
別刷印刷費	260,000	189,000	71,000
人 件 費	5,300,000	5,300,000	0
謝 金	5,313,000	4,186,000	1,127,000
送料運搬費	1,638,000	2,040,000	-402,000
消 耗 品 費	250,000	200,000	50,000
雑 費	150,000	150,000	0
天文月報発行事業費	16,800,000	18,400,000	-1,600,000
直接印刷費	9,000,000	10,000,000	-1,000,000
別刷印刷費	500,000	700,000	-200,000

人件費	1,300,000	1,300,000	0
謝金	1,500,000	1,800,000	-300,000
送料運搬費	3,000,000	3,000,000	0
消耗品費	500,000	500,000	0
雑費	1,000,000	1,100,000	-100,000
年会事業費	11,200,000	8,250,000	2,950,000
予稿集印刷費	2,200,000	2,100,000	100,000
謝金	1,500,000	1,450,000	50,000
送料運搬費	200,000	200,000	0
会場費	4,600,000	1,900,000	2,700,000
消耗品費	250,000	200,000	50,000
人件費	1,300,000	1,300,000	0
雑費	200,000	200,000	0
旅費交通費	250,000	300,000	-50,000
保育室運営経費	400,000	350,000	50,000
ジュニアセッション経費	300,000	250,000	50,000
事業費支出計	58,690,000	52,012,095	6,677,905
②管理費支出			
人件費	7,200,000	7,100,000	100,000
謝金	250,000	100,000	150,000
会議費	400,000	300,000	100,000
負担金	10,000	10,000	0
租税公課(消費税等)	450,000	450,000	0
法定福利費	1,100,000	1,150,000	-50,000
旅費交通費	1,500,000	2,000,000	-500,000
送料通信費	900,000	700,000	200,000
消耗什器備品費	400,000	400,000	0
消耗品費	700,000	800,000	-100,000
印刷製本費	1,100,000	250,000	850,000
光熱水料費	300,000	250,000	50,000
賃借料	1,800,000	1,650,000	150,000
保険料	15,000	15,000	0
諸手数料	300,000	280,000	20,000
修繕費	30,000	40,000	-10,000
書籍購入費	10,000	100,000	-90,000
特別企画調整費	70,000	200,000	-130,000
公開講演会諸経費	2,750,000	1,320,000	1,430,000
百周年記念(講演会・祝賀会)	2,000,000	0	2,000,000
〃(百年史出版)	7,000,000		7,000,000
〃(展示など)	1,000,000		1,000,000
天体発見賞等経費	900,000	900,000	0
衛星設計コンテスト	150,000		150,000
雑費	400,000	300,000	100,000
退職金支出	0	0	0
徴収不能額	0	0	0
管理費支出計	30,735,000	18,315,000	12,420,000
事業活動支出計	89,425,000	70,327,095	19,097,905
事業活動収支差額	-16,955,000	2,938,155	-19,893,155
II. 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入			
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出			
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
退職給付引当資産取得支出	462,000	450,000	12,000
固定資産取得支出			
什器備品購入支出	300,000	300,000	0
投資活動支出計	762,000	750,000	12,000
投資活動収支差額	-762,000	-750,000	-12,000
当期収支差額	-17,717,000	2,188,155	-19,905,155
前期繰越収支差額	54,795,411	47,661,194	7,134,217
次期繰越収支差額	37,078,411	49,849,349	-12,770,938

(注) 1. 収支予算書は当年度から「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された様式により作成している。

2. 前年度予算額は、前年度の収支予算書の科目を、当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

《特別会計》

(単位：円)

会計種目	科目	予算額	前年度予算額	増減
学術交流費 会 計	I. 事業活動収支の部			
	1. 事業活動収入			
	賛助会員会費収入	1,320,000	1,350,000	-30,000
	受取利息	200	10	190
	事業活動収入計	1,320,200	1,350,010	-29,810
	2. 事業活動支出			
	学術交流費	1,380,000	1,380,000	0
	雑 費	3,000	3,000	0
	徴収不能額	0	0	0
	事業活動支出計	1,383,000	1,383,000	0
当期収支差額		-62,800	-32,990	-29,810
前期繰越収支差額		3,275,905	2,428,615	847,290
次期繰越収支差額		3,213,105	2,395,625	817,480
内地留学奨学金 基金会計	I. 事業活動収支の部			
	1. 事業活動収入			
	受取利息	600	500	100
	事業活動収入計	600	500	100
	2. 事業活動支出			
	奨学金支出	250,000	250,000	0
	雑 費	2,000	2,000	0
	旅費支出	0	0	0
	事業活動支出計	252,000	252,000	0
	当期収支差額		-251,400	-251,500
前期繰越収支差額		3,049,907	3,290,362	-240,455
次期繰越収支差額		2,798,507	3,038,862	-240,355
研究奨励賞 基金会計	I. 事業活動収支の部			
	1. 事業活動収入			
	寄付金収入	100,000	100,000	0
	受取利息	50	10	40
	事業活動収入計	100,050	100,010	40
	2. 事業活動支出			
	研究奨励賞賞金	300,000	300,000	0
	雑 費	30,000	230,000	-200,000
	旅費支出	50,000	20,000	30,000
	事業活動支出計	380,000	550,000	-170,000
当期収支差額		-279,950	-449,990	170,040
前期繰越収支差額		5,105,159	5,495,043	-389,884
次期繰越収支差額		4,825,209	5,045,053	-219,844

早川幸男 基金会計	I. 事業活動収支の部			
	1. 事業活動収入			
	寄付金収入	1,000,000	1,000,000	0
	受取利息	15,000	5,000	10,000
	事業活動収入計	1,015,000	1,005,000	10,000
	2. 事業活動支出			
	研究補助支出	2,700,000	2,700,000	0
	雑費	10,000	10,000	0
事業活動支出計	2,710,000	2,710,000	0	
当期収支差額	-1,695,000	-1,705,000	10,000	
前期繰越収支差額	36,952,487	34,145,208	2,807,279	
次期繰越収支差額	35,257,487	32,440,208	2,817,279	
林忠四郎賞 基金会計	I. 事業活動収支の部			
	1. 事業活動収入			
	受取利息	2,000	2,000	0
	事業活動収入計	2,000	2,000	0
	2. 事業活動支出			
	林賞賞金	300,000	300,000	0
	雑費	20,000	20,000	0
	旅費支出	100,000	100,000	0
事業活動支出計	420,000	420,000	0	
当期収支差額	-418,000	-418,000	0	
前期繰越収支差額	12,836,748	13,231,205	-394,457	
次期繰越収支差額	12,418,748	12,813,205	-394,457	
創立100周年記念出版事業 基金会計	I. 事業活動収支の部			
	1. 事業活動収入			
	受取利息	3,000	5,000	-2,000
	事業活動収入計	3,000	5,000	-2,000
	2. 事業活動支出			
	出版経費	7,500,000	7,500,000	0
	雑費	20,000	45,000	-25,000
	旅費支出	200,000	1,500,000	-1,300,000
事業活動支出計	7,720,000	9,045,000	-1,325,000	
当期収支差額	-7,717,000	-9,040,000	1,323,000	
前期繰越収支差額*	11,343,340	19,334,479	-7,991,139	
次期繰越収支差額	3,626,340	10,294,479	-6,668,139	

(注) 1. 収支予算書は当年度から「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された様式により作成している。

2. 前年度予算額は、前年度の収支予算書の科目を、当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

* 当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。便宜上、繰越収支差額は前々年度の決算額を用いている。尚、記念出版事業基金会計は契約により、2006年度1千万円、2007年度750万円、2008年度750万円を支払うことになっている。2007・2008年度の前期繰越収支差額は、これらの金額を除いた数字となっている。

収支予算書総括表

2008年1月1日～2008年12月31日

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	学術交流費	留學基金	奨励賞基金	早川基金	林賞基金	記念出版基金
I. 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
基本財産運用収入	7,000	7,000	0	0	0	0	0	0
特定資産運用収入	0	0	0	0	0	0	0	0
会費収入	39,910,000	38,590,000	1,320,000	0	0	0	0	0
事業収入	26,037,000	26,037,000	0	0	0	0	0	0
補助金等収入	6,600,000	6,600,000	0	0	0	0	0	0
寄付金収入	1,300,000	200,000	0	0	100,000	1,000,000	0	0
印税収入	530,000	530,000	0	0	0	0	0	0
受取利息	26,850	6,000	200	600	50	15,000	2,000	3,000
雑収入	500,000	500,000	0	0	0	0	0	0
事業活動収入計	74,910,850	72,470,000	1,320,200	600	100,050	1,015,000	2,000	3,000
2. 事業活動支出								
事業費支出	71,555,000	58,690,000	1,383,000	252,000	380,000	2,710,000	420,000	7,720,000
管理費支出	30,735,000	30,735,000	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計	102,290,000	89,425,000	1,383,000	252,000	380,000	2,710,000	420,000	7,720,000
事業活動収支差額	-27,379,150	-16,955,000	-62,800	-251,400	-279,950	-1,695,000	-418,000	-7,717,000
II. 投資活動収支の部								
1. 投資活動収入								
特定資産取崩収入								
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出								
特定資産取得支出								
減価償却引当資産取崩支出	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩支出	462,000	462,000	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出								
什器備品購入支出	300,000	300,000	0	0	0	0	0	0
投資活動支出計	762,000	762,000	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	-762,000	-762,000	0	0	0	0	0	0
当期収支差額	-28,141,150	-17,717,000	-62,800	-251,400	-279,950	-1,695,000	-418,000	-7,717,000
前期繰越収支差額	127,358,957	54,795,411	3,275,905	3,049,907	5,105,159	36,952,487	12,836,748	11,343,340
次期繰越収支差額	99,217,807	37,078,411	3,213,105	2,798,507	4,825,209	35,257,487	12,418,748	3,626,340

【第3号議案】

日本天文学会第17期評議員候補者名簿
(任期: 2008. 1. 1~2011. 12. 31)

第17期評議員候補者名簿は、2007年9月10日(月)の開票が済み次第、学会ホームページ、tennet およびハガキにて皆様にお知らせいたします。

日本天文学会ロゴマーク最優秀作品の決定について

日本天文学会 理事長 土佐 誠

日本天文学会は100周年を記念して、学会にふさわしいロゴマークを公募しました。その結果、応募者総数491名、応募作品総数779点と、たいへんたくさんの応募がありました。応募数もさることながら、レベルの高い作品も多くあって、最優秀1編を選ぶにはたいへん苦労しました。特に、この企画は、小さなお子さんから87歳までの幅広い年齢層の方からの応募があり、多くの方に日本天文学会の存在を知ってもらう良い機会になったと、とても喜んでおります。

審査は、日本天文学会の理事長、副理事長2名と、宇宙に関するデザインを多く手がけるかたわら、宇宙美術館の館長として、天文、宇宙科学の普及活動にご尽力されている、岩崎一彰氏を加えた4人の審査員で、2007年4月28日と、6月2日の2回に分けて行いました。いろいろな議論の末、最優秀賞1件と優秀賞2件を次のように決定いたしました。

1. 最優秀賞

仲秋広志さんの作品(図1)を最優秀賞候補と決定しました。すっきりした感じで、かつ、まとまりも良いこと、小さくしてもASJの文字にインパクトをあたせることができること、さらに、誰にでも受け入れやすく、天文学会の今後の発展性が感じられる作品であることが、選定理由です。

なお、実際のロゴについては、このデザインを元に、星の位置、星の曲線の曲率等をデザイナーにより編集したものを使用します。文字についてもバリエーションが考えられ、用途によって使い分けようと考えています。

2. 優秀賞

- ①伊藤真二さんの作品(図2)を優秀賞候補とします。日本のイメージがあり、単純でありながらインパクトが強い作品です。太陽を代表としてあら

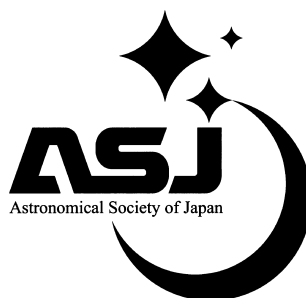


図1 最優秀賞，仲秋広志さんの作品。



図2 優秀賞，伊藤真二さんの作品。



図3 優秀賞，浦地思久理さんの作品。



図4 日本語用日本天文学会のロゴマーク。



図5 英字用の日本天文学会のロゴマーク。

ゆる天体をあらわしているようで、宇宙の象徴的な印象を持つことができます。

②浦地思久理さんの作品（図3）を優秀賞候補とします。非常にユニークな感じで、絵に懐かしさを覚えるたいへん面白い作品です。天文学会のロゴマークと言うよりは、100周年記念事業を中心に

利用することを検討しております。

最優秀作品を元にした、図4、図5を、日本天文学会のロゴマークとして、長く使用していきたいと考えています。また、応募されたすべての方々に感謝の意を表すとともに、多方面で、この企画を支援していただいた方々にも感謝いたします。

編集委員会より

天文月報表紙デザイン案大募集！

2008年1月号から12月号までの表紙をかざるデザインを募集します。

表紙は、題字（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー写真および背景イラストから構成されます。毎月違うイラストでも、同じデザインで色違いでもかまいません。具体例は、今年または過去の天文月報をご覧ください。（天文月報のホームページのバックナンバー（<http://www.asj.or.jp/geppou/contents/index.html>）に2007年、2006年などの表紙画像があります。）

応募される方は、下記送り先まで、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。形式は問いません。雑誌のサイズは、B5判タテ（182ミリ×257ミリ）です。採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。また、採用者をご紹介いただいた会員の方には粗品を差し上げます。

締め切り：2007年9月末日

送り先：天文月報編集委員会

toukou@geppou.asj.or.jp

和田桂一（天文月報編集長）

和田桂一（編集長）、浅井 歩、今西昌俊、衣笠健三、齋藤正雄、寺田幸功、戸谷友則、三好 真、矢野太平、吉田直紀
平成19年8月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価700円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359（事務所）/0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2007年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）